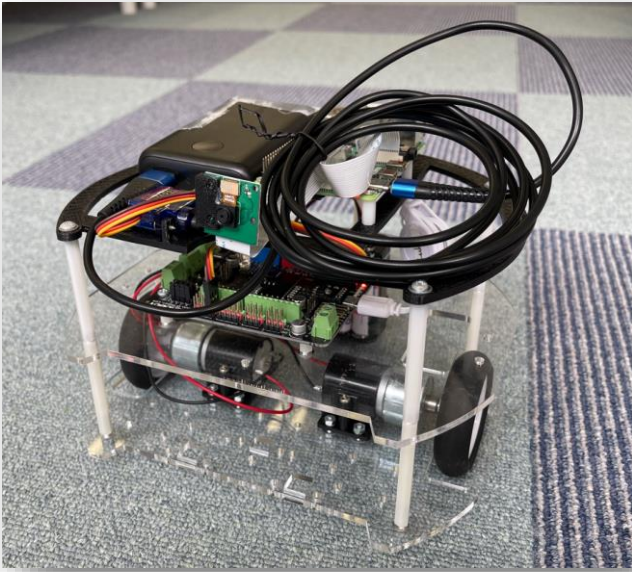


Scratchを使ったロボット制御



【ロボット】

左記は2輪で動くロボットです。ラインセンサーを付ける事で、黒い線の上を走行するロボットになります。センサーを別のものに変更することで、違う動作を行うロボットを作ることができます。

その動作を決めるのがプログラミングです。プログラミングの言語は、Scratchを利用します。Scratchは小学校のプログラミング教材としても利用されています。

【Scratchプログラミング】

ブロックをつなげていくことでプログラムを作ります。マウスと数字キーだけでプログラミングできます。

右のプログラムは以下のように動きます

1. センサー値（アナログ0）が500より小さいとき、モーターを100、100のスピードで回す。
2. センサー値（アナログ0）が500以上のとき、モーターを止める。

センサーの値に合わせ、どうしたいかを考え、ブロックで表現するとプログラムができます。



【事業内容】

公開しているScratch（無償）に用意しているブロックは、2輪で動くロボット用です。新しいセンサーや動作させる装置により、Scratchのブロック、および、装置は新規に作成する必要があります。その設計と開発を請け負っております。

電子機器やモータを使った装置などの開発は得意ではなく、ソフトウェアの開発が得意です。ご協力いただける会社などは歓迎いたします。お問い合わせフォームよりご連絡ください。

ホームページ <https://lukesys.co.jp/>
担当 川野 TEL086-206-3137 (10:00-17:30)